



○自然の中での外傷

場 合	件 数	内 容
登山・ハイキング	56	山岳遭難など
公園内	22	ミューズパークも含む
農作業中	18	うち13件が機械取扱い中
サイクリング	11	
河原・沢	21	うち釣りが10件
山菜採り	6	
キャンプ	3	

図1 出典：2008～2012年 救急搬送データ

ハチ刺され・山岳遭難

自然の中での事故やケガが多い

秩父市は、自然環境に恵まれており、登山、釣り、サイクリングなどを楽しむ人が大勢います。また、農林作業に従事する人もいます。こうした自然環境の中での活動中に受傷するケースが多くなっています。そこで、「自然の中での安全対策委員会」を設置し、救急搬送、山岳遭難、農林業従事者の労働災害データなどをもとに地域特性を分析しています。

例えば、救急搬送データをみ

ると自然の中での外傷(図1)として、登山や農作業中における事故の発生が多くなっています。また、ミューズパークなどの公園内でのケガも多い状況です。これらのデータを踏まえて、各委員からは、

- ・山岳遭難が多い(49件)
- ・ハチ刺されは9月が多い(43件)
- ・農作業中の機械使用による事故が多い(13件)

などの特性が指摘されました。今後、必要なデータを継続して収集・分析しながら、自然の中での事故やケガの予防策を検討していきます。

「セーフコミュニティ講演会」を開催します。

市民の皆さんに広くセーフコミュニティ活動への理解を深めていただくため、「セーフコミュニティ講演会」を開催します。

と き 2月5日(水)午後2時～

と ころ 歴史文化伝承館ホール

内 容 (予定)

- ① 秩父市の活動状況の報告
 - ② 他自治体における事例発表
 - ③ シンポジウム
- 問 危機管理課 Tel 22-2206